

**[成果情報名]食用ぎく新品種「菊名月」の10月から11月収穫に適した栽培方法**

**[要約]**山形県が開発した黄色系食用ぎく新品種「菊名月」における季咲きの10月出し作型では、畝間180cm、株間75cm、条間30cmの2条千鳥植えが適し、340kg/a程度の収量が得られる。11月出し電照作型では、株間45cmにすることで、190kg/a程度の収量が得られる。

**[キーワード]**食用ぎく、新品種、菊名月、電照栽培

**[担当]**山形県農業総合研究センター園芸試験場・野菜花き部

**[代表連絡先]**電話 0237-84-4125

**[区分]**東北農業・野菜花き（野菜）

**[分類]**普及成果情報

**[背景・ねらい]**

山形県において現在生産されている黄色系食用ぎくの主力系統は、収穫時期が8月から9月に集中するため、11月までの需要に十分対応できていない。これを解決するため、山形県では10月に収穫ピークとなる「菊名月」を開発した。そこで、「菊名月」の特性を活かし、10月から11月に安定した収量が得られる栽培方法を検討する。

**[成果の内容・特徴]**

1. 黄色系品種の「菊名月」は、季咲きの収穫時期が10月中下旬となるが、電照することで11月に収穫期を遅らせることができる（表1）。
2. 季咲きの10月出し作型の栽植様式は、畝間180cm、株間75cm、条間30cmの2条千鳥植え（148株/a）が適する。この栽植様式では、商品収量が340kg/a程度となり、収穫盛期は10月第4半旬となる（表2、図1）。
3. 11月出し電照作型の栽植様式では、畝間180cm、株間45cm、条間30cmの2条千鳥植え（247株/a）が、株間30cmよりも栽植株数が少ないことから適する。この栽植様式では、商品収量が190kg/a程度となり、収穫盛期は11月第5半旬となる（表3、図1）。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及予定地域：県内への早急な普及を図るため、本品種の種苗供給は当面山形県内のみとする。なお、種苗は2018年6月にJAを通じて生産者へ配布予定であり、現在注文のとりまとめを行っている。
2. 本品種は、「山園K4号」の名称で2017年11月13日に品種登録し、「菊名月」の名称は、2017年2月24日に商標登録された。
3. 「菊名月」の11月出し栽培において、電照は必須であり、本試験では、現地で行われている事例を参考に、電照及び再電照の期間を設定した。
4. 電照は畝上1.8mの高さに60Wの白熱電球を3m間隔で設置し、22時から26時まで点灯した。電照期間は定植から8月20日、再電照期間は9月4日から9月7日、9月11日から9月14日とした。

[具体的データ]

表1 「菊名月」の電照開花抑制効果(2014年)

	挿し芽 (月/日)	定植 (月/日)	電照 <sup>Z</sup> (月/日)	収穫 <sup>Y</sup>			収穫 期間 <sup>X</sup> (日)
				始期 (月/日)	盛期 (月/日)	終期 (月/日)	
自然日長	5/29	6/27	—	10/11	10/20	10/29	18
電照			6/27~8/10、8/24~8/27、9/2~9/5	10/27	11/4	11/10	14

<sup>Z</sup>畝上1.8mの高さに60Wの白熱電球を3m間隔で設置し、22時から26時まで点灯。

<sup>Y</sup>総収量の1割以上を収穫した日を収穫始期、5割以上を収穫盛期、9割以上を収穫終期とした。<sup>X</sup>収穫始期から終期までの日数。

表2 10月出し作型の栽植様式と収量(2015年)

区	栽植 密度	商品								外品		a当たり収量			総収量
		L <sup>Z</sup>		M <sup>Z</sup>		M未満 <sup>Z</sup>		奇形花 <sup>Y</sup>		L品	M品	商品 (L+M)			
		花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)						
株間	条数等	(株/a)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(kg/a)	(kg/a)	(kg/a)	(kg/a)	
45cm	1条	123	369	1,776	140	304	11.5	9.2	10.0	10.2	219	38	257	259	
60cm	2条千鳥	185	292	1,448	127	287	13.6	12.2	4.6	7.5	268	53	321	325	
75cm	2条千鳥	148	360	1,854	168	409	18.5	17.8	8.4	11.3	275	61	335	340	
90cm	2条千鳥	123	400	1,981	163	369	17.8	9.0	13.8	13.2	245	46	290	293	

<sup>Z</sup>頭花直径が7cm以上のものをL、7cm未満5cm以上のものをM、5cm未満のものをM未満とした。

<sup>Y</sup>花序が正常に開かず、円形にならないものを奇形花とした。

表3 11月出し電照作型の栽植様式と収量(2016年)

区	栽植 密度	商品								外品		a当たり収量			総収量
		L <sup>Z</sup>		M <sup>Z</sup>		M未満 <sup>Z</sup>		奇形花 <sup>Y</sup>		L品	M品	商品 (L+M)			
		花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)	花数 (個/株)	重量 (g/株)						
株間	条数等	(株/a)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)	(kg/a)	(kg/a)	(kg/a)	(kg/a)	
30cm		370	53	438	21	75	9.8	18.5	0.5	2.4	162	28	190	198	
45cm	2条千鳥	247	75	635	31	117	13.7	23.1	0.0	0.0	157	29	186	191	
60cm		185	88	713	17	68	3.7	5.3	0.2	1.8	132	13	145	146	
75cm		148	116	932	29	80	1.4	2.5	1.0	6.8	138	12	150	151	

<sup>Z</sup>頭花直径が7cm以上のものをL、7cm未満5cm以上のものをM、5cm未満のものをM未満とした。

<sup>Y</sup>花序が正常に開かず、円形にならないものを奇形花とした。

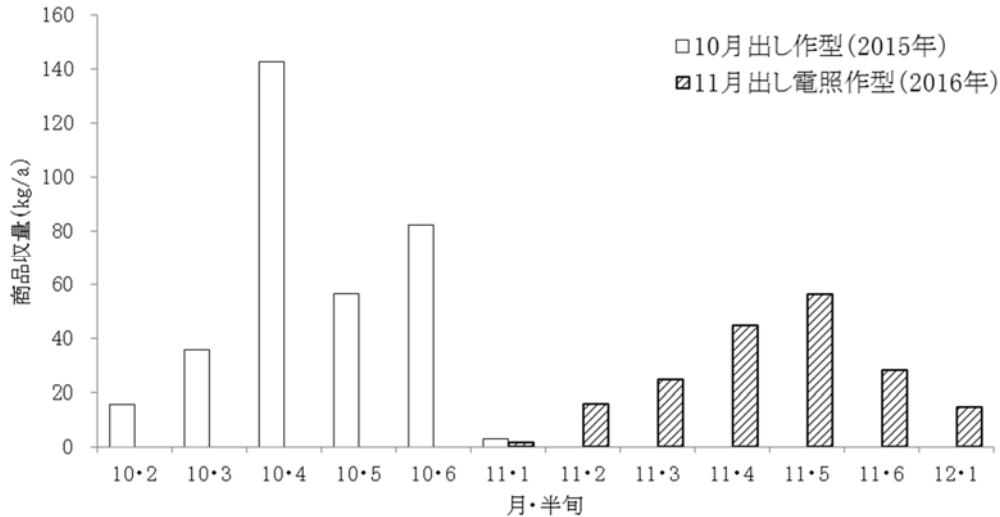


図1 時期別商品収量の推移(2015年、2016年)

[栽培概要]

<2014年>	<2015年>	<2016年>
畝間180cm、株間45cm、1条植え(123株/a)	畝間180cm、株間75cm、条間30cm、2条千鳥植え 挿し芽:5月28日、定植:6月26日	畝間180cm、株間45cm、条間30cm、2条千鳥植え 挿し芽:6月26日、定植:7月25日 電照栽培

(山形県農業総合研究センター)

[その他]

研究担当者: 島貫源基、齋藤司、大嶋博之、鈴木泉  
 発表論文等: なし